

米国における竜巻対策に関する現地調査について

1. 趣旨

竜巻等突風対策の強化に向け、竜巻等突風対策検討会での検討に資するよう、竜巻対策の先進国である米国における予警報体制、情報伝達・避難誘導體制、教育・意識啓発等の取組の実情を調査する。

2. 訪問先（候補）

連邦緊急事態管理庁（FEMA）（ワシントンDC）
連邦レベルの防災部門における竜巻被害軽減対策の調査

米国海洋大気庁（NOAA）国立気象サービス・ストーム予報センター、オクラホマ大学（オクラホマ）

ドップラーレーダー等を用いた竜巻監視・予警報体制や最新の竜巻研究等の調査

その他参加機関の間で調整

3. 体制

内閣府その他希望省庁等（所管の団体も可）

4. 時期（1週間程度）

2007年2月中旬の1週間程度を予定

5. 経費

参加省庁等の自己負担